

小中連携した取組み

■小学校と中学校をつなぐ ～中1ギャップをなくす取組み～

仲井真中学校では、小中一貫教育の取組みの一つとして、年度末(3月)に小学校6年生を対象としたブックトークを開催しています。そして、それを新年度の4月、仲井真中学校に入学してきた1年生対象の図書館オリエンテーションにつなげています。6年生からは、「ちょっと安心した」「中学校生活がイメージできたと思う」といった感想もあがりました。

3月

卒業を控えた6年生向けブックトーク
(仲井真小学校図書館)

ブックトークのテーマは「中学校の図書館へようこそ」

仲井真中学校図書館に所蔵する図書のなかから、「中学生に人気のある図書」「中学生になったら読んでほしい図書」を中心に紹介します。

今回は、「怖い本」と「仲井真中で人気の本」をテーマにセレクト。まずは、明かりを消して「怖い話」からスタート。子どもたちは話に引き込まれていきます…

『空想科学読本』の紹介では、実際にメジャーを出して、ドラえものの頭の大きさを示します!



最後は、中学生になったら使う教科書の紹介をしました。

全ての本の紹介後、実際に本を手にとってもらいます。みんな興味津々です!



へえっ、ドラえものの頭はこんなに大きいのか!?

ぼくもその本、読んでみたいなあ



4月

図書館オリエンテーション
(仲井真中学校図書館)



まずは、図書館の利用方法とマナー
についての説明をします。

次に、実際に本の貸出をします。
生徒たちは、すでに司書と顔見知り
なので、気軽に本について相談して
きます。



最後に、新着本の紹介です。
新しい環境になじむためのお助けとなる
本を選書し、紹介します。

中学生活、最初に借
りる本は何かいい
かな？



紹介した本を含む新着本の予約を受
付けます。ブックトークを聞いて興味を
もった生徒たちが集まってきました。



令和2年度に実施したこの取組みは、今回が初めてということで、3月のブックトークから4月のオリエンテーションまでの流れを取材しました。答えてくださったのは、仲井真中学校司書の添石志穂子さんです。

■ブックトークについて

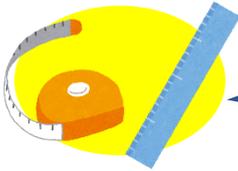
Q1 今回の選書のポイントと、選書するにあたって心がけていることは何ですか？

今回選んだテーマは「怖い話」と「仲井真中学校で人気の本」です。
怖い話を選んだ理由は、本好きでも本好きでなくても誰もが集中して聞いてくれるからです。また、部屋を暗くしたり、机をたたいて音を出したりと、演出がしやすく、ドラマチックになりますよ。怖い話以外の選書ポイントとしては、登場人物が3~4人であると話の筋が理解しやすく、イメージしやすいと思います。5分以内で話せるくらいの長さがよいと思っています。
選書するとき心がけていることは、どんな学力の児童生徒でも集中して聞け、誰もがおもしろいと感じてくれる資料を選ぶことです。また、自分が中学生だったら…と中学生や小学生の立場に立って選書をするのも忘れません。



仲井真中学校
学校司書 添石志穂子さん

Q2 ブックトークのとき大事にしていることは何ですか？



それは、本の内容を視覚化することです。
そのため定規やメジャーをよく使用します。



■新入生の反応について

Q3 この取組みをする前は、どのような様子だったのですか？



入学したばかりの1年生は、まだ周囲の人と打ち解けていませんよね。司書である私とも、もちろん初対面です。ですから、図書館オリエンテーションでは、みんな緊張していて、反応がほとんどありません。「新着本紹介」においてもほとんど反応がなく、新着本の貸出予約をする生徒数は1学級につき2~3人くらいでした。

Q4 取組みのあとはどうなりましたか？



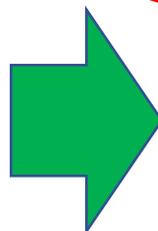
入学前にブックトークを経験していることと、司書を知ってくれていることで、ブックトークの最中も、笑うなど素直な反応がみられました。読みたい本がないときには、気軽に声をかけてくれるし、図書館マナーについて注意をしても素直に応じてくれます。入学式では、私に「先生」と声をかけてくれる生徒もいたんですよ。生徒理解についても、例年だともう少し時間がかかっていましたが、今年は早めに対応できていると感じています。新着本の予約も、1学級につき、今年は5~7人と増えました。

■小学校と中学校をつなぐ展示の工夫

ブックトークで紹介した本に集まる児童。(3月 仲井真小学校)



3月のブックトークで紹介した本を展示。(4月 仲井真中学校)



■パワーアップ!学校図書館を活用した「中1ギャップをなくす取組み」から「読書推進」へ



仲井真中学校 学校司書
添石志穂子さん

これまでの取組みに加えた点は、令和3年度から開始時期を小学5年生の3月に変更したことです。もちろん、これまで取組み方法で中1ギャップの解消は可能だと思いますが、小学5年生から実施することによって、時間をかけてコミュニケーションがとれるという利点と、併せて読書推進ができるという利点があります。小学校図書館との連携が必要な取組みですが、中学校に入学したときの生徒の様子を見るたび、やってよかったなど実感します。

小学5年生
3月

5年生に向けブックトーク

NEW!

■振り返ってみよう、自分の読書

来年度小学校6年生(最上級生)になる5年生を対象に、中学校進学を見据え、今までの読書を振り返り、小学校図書館への興味関心を高めることをねらいにして取り組みます。



小学校の図書館に伺い、ブックトークをします。
ブックトークのテーマは、「**振り返ってみよう、自分の読書**」です。
小学校所蔵の図書の中から 6年生になったら読んでほしい本 を中心に紹介します。

- ① まずは「怖い話」。子どもたちに人気のジャンルから始めます。使用した本は2冊。
■例・『放課後怪談部』(著:吉田 悠軌 出版社:六月書房)
・『不思議な子どもたち ほんとうにあった怖い話 琉球怪談百絵巻』
(著:小原猛 絵:三木静 出版社:ボーダーインク)
- ② 次に、今回のテーマ「振り返ってみよう、自分の読書」ということで、小学校の蔵書の中から「6年生になったら読んでほしい本」を中心に紹介します。
■例・『分解する図鑑』(監修・指導:森下 信ほか 監修協力:水野仁輔 出版社:小学館)
・『くらべる図鑑』(監修・指導:加藤由子ほか 出版社:小学館)
・『ひらがなにっき』(作:若一の絵本制作実行委員会 絵:長野 ヒデ子 出版社:解放出版社)
・『こども六法』(著:山崎 聡一郎 絵:伊藤ハムスター 出版社:弘文堂)
ほか、小学校図書館の新刊など
- ③ ブックトークの最後に、公共図書館の利用についてお話しします。
- ④ それから、紹介した本を手にとってもらう時間をとります。

【ブックトークに使用する資料を選書するにあたって心がけていること】
9類に偏らないこと、視覚的なもの、教養を深めるもの、自分の行動を振り返られるようなもの
を取り入れるようにしています。



NEW!

小学6年生
12月

小中一貫の取組み「仲中登校日」を利用した 6年生向けブックトーク



■中学校の新しい本

令和4年度から復活した、小学校6年生が中学校に登校し、中学校の先生による授業を受けるなどの体験をする「^{なかちゅう}仲中登校日」。図書館でも6年生にブックトークをします。

① 中学校図書館を見てもらいながら、本の紹介をします。

- 例 ・『スーパー戦隊』（監修：東映株式会社、松井大 編集・制作：学研図鑑編集室 出版社：学研プラス）
- ・『キン肉マン「技」』（監修：ゆてたまご 編集・制作：学研図鑑編集室 出版社：学研プラス）
- ・『恐竜と古代の生き物図鑑』（著：ジョン・ウッドワード 監修：ダレン・ナイシュ 監訳：田中 康平 訳：喜多 直子 出版社：創元社）

② 次に、去年、要望があった本を購入したので紹介をしました。

- 例 ・『世界の戦車パーフェクト Book』（著：鮎川 置太郎著ほか 出版社：コスミック出版）
- ・『世界の軍用機図鑑』（監修：毒島 刀 著：神奈川 憲ほか 出版社：コスミック出版）
- ・『ざんねんな兵器図鑑』（著：世界兵器史研究会 出版社：KADOKAWA）

③ 次に、面白くてためになる、勉強で使える本を紹介しました。

- 例 ・『小説はたらく細胞』（原作・イラスト：清水 茜 著：時海 結以 出版社：講談社）
- ・『「呪術廻戦」で英語を学ぶ!』（原作：芥見 下々 訳・文：北浦 尚彦 出版社：集英社）
- ・『「ジョジョの奇妙な冒険」で英語を学ぶッ!』、『「ジョジョの奇妙な冒険」で英語をもっと学ぶッ!』（原作：荒木 飛呂彦 監修：マーティ・フリードマン 訳・文：北浦 尚彦 出版社：集英社）

④ 最後に、読み物を紹介しました。

- 例 ・ジョジョの奇妙な冒険の小説版（原著：荒木 飛呂彦 著：乙一ほか 出版者：集英社）
- ・『今夜、世界からこの恋が消えても』（著：一条 岬 出版社：KADOKAWA）
- ・『満月珈琲店』（作・絵：桜田 千尋 文：望月 麻衣 出版社：KADOKAWA）
- ・『満月珈琲店のレシピ帖 月と星のやさしいメニュー』（著：桜田 千尋 出版社：主婦の友社）
- ・仲井真中学校書き出し小説団体戦の生徒作品 ※詳細は「学校図書館による学習支援」を参照してください。

※ 新しい試みとして、仲中登校日のブックトークの最後に、「このなかで、小学校にあったらいいなという本はある?」と聞き、好評だった本を小学校司書に伝え、購入してもらいました。

ブックトークで評判の良かった本の情報を、小学校と共有し蔵書の充実を図ることは、小中連携のメリットと言えます。

これらの本は、3月に実施する5年生対象のブックトークでも紹介する予定です。



小学6年生
3月

卒業式を控えた 6年生向けブックトーク

「中学校にあったらいいなって本はある?」と聞き、要望のあった本を年度内に購入し、4月新入生オリエンテーションで紹介します。

好きな本が中学校にあると嬉しいですし、司書に対する信頼にも繋がると思い、始めました。

中学1年生
4月

図書館オリエンテーション (仲井真中学校図書館)





沖縄県立図書館ホームページ「学校図書館支援」では、学校図書館の
取組みについて情報提供します。内容については随時更新して
まいります。